

認定NPO法人20年 国連WFP協会の挑戦



国連WFP協会

国連WFP協会は認定NPO法人化してからの20年間「飢餓の撲滅を使命とする国連の食料支援機関である国連WFPを支援する団体として、日本にお



丹羽宇一郎
国連WFP協会初代会長



安藤宏基
国連WFP協会2代目会長

祝 辞

国連WFP協会の認定NPO法人化20周年、誠にありがとうございます。長年にわたる、世界の飢餓や栄養不良の解決という困難な課題に、真摯に向かい続けられてきた皆さまの「尽力に、心より敬意を表します。紛争や経済的不安定などが複雑に絡み合っている食料安全保障の重要性が一層高まる今日において、



左から今野正義国連WFP協会理事、石破茂前内閣総理大臣、安藤宏基国連WFP協会会長

同協会の果たす役割はますます大きなものとなっています。日本が培ってきた経験や技術、そして人々を思いやる心をもち、国際社会に貢献してこれた歩みは、わが国の誇りでもあります。官民の連携の下、多くの方々の理解と協力を得ながら活動を広げてきたことに、あらためて深い感謝と敬意を申し上げます。今後もさらなる連携と挑戦を重ね、誰一人取り残さない持続可能な社会の実現に向けて、より一層ご活躍されることをより期待しております。皆さまの取り組みが、未来を担う子どもたちの健やかな成長と希望ある明日につながることを願っております。

飢餓なき世界の実現へ さらなる連携と挑戦期待

津村康博WFP日本事務所代表
世界各地で頻発する紛争、気候変動の影響により、2024年の世界の飢餓人口は6億7300万人です。とりわけ現在進行中の中東の危機は、食料および燃料価格の高騰を招き、食料や肥料の物流にも深刻な影響を及ぼしています。世界食糧計画(WFP)は各地で緊急食料支援を展開

民間寄付分野での取り組みに加え、安藤会長は国連WFP協会会長として、国連WFP国会議員連盟とWFP日本事務所と緊密に連携し、政府に対して国連WFPへの支援が与えられたばかり、菅義偉元総

官民連携で広がる国際貢献

理や岸田文雄元総理からも賛意と敬意の言葉が寄せられています。こうした活動によって、日本からの支援に対して、在日ウクライナ大使から謝意が寄せられたばかり、菅義偉元総

東日本の震災サポートも

日本と国連WFPの特別な経験

2011年の東日本大震災では、国連WFP協会として、安藤会長が当時の農林水産大臣であった鹿野道彦氏にサポートについて話したところ、大臣は、予算に制約がある現状を踏まえ、商品提供は大変ありがたいことであり、積極

企業と国民動がす力

国連WFP協会は民間分野への働きかけを通じて企業と国民双方の意識改革を促し、支援の裾野を大きく広げてきた。企業に対しては経営層への直接的なアプローチを重ね、飢餓問題への理解と参画を推進し、安藤会長自らが食品業界をはじめ各企業・団体のトップに国際協力的重要性を訴え続けている。国連WFP協会の財務基盤を支える評議員企業・団体数は2026年5月時点で約400社となり、

支援の輪を広げた意識改革

200社以上から161億円、個人寄付を含め19.4億円の集めた。トルコ・シリア地震では36社から5億5000万円、パレスチナ人道危機でも1億円超の支援を実現。25年の年間寄付額は24.6億円の

飢餓のない世界へ

飢餓は単に食べ物不足している状態ではない。命と尊厳を脅かし、教育や働く機会を奪い、社会的不安定性を招く深刻な課題だ。その背景には、戦争やテロといった人為的な要因と、地震や洪水、干ばつなど避けがたい自然災害がある。国連WFP協会の役割は、飢餓に直面する人々へ食料を届けることに止まらない。役割を終えられる日を迎えることである。その日まで、共生と助け合いの心を育み続けていく。

役目終える日を目指して

識が求められる。国連WFP協会の役割は、飢餓に直面する人々へ食料を届けることに止まらない。役割を終えられる日を迎えることである。その日まで、共生と助け合いの心を育み続けていく。

支援の原点を見た日

連WFPの活動内容や意義を説明したところ、丹羽氏はその理念に深く共鳴し就任を快諾した。丹羽氏は名を連ねるだけの立場にとどまる人物ではなく、

寄稿

設立当初、国連WFP協会の認知は現在ほど高くはなく、同協会の発展に大きな転機をもたらしたのが伊藤忠商事元会長・認定NPO法人国連WFP協会の初代会長に就任した丹羽宇一郎氏である。同氏の就任の背景には、当時カメの専務取締役であり国連WFP協会理事を務めていた饒江雅彦氏の働きかけがあり、饒江氏から「丹羽氏に会長に就任していただきたい」との思いから、アフリカ・ケニアを訪問。長時間の移動を経て首都ナイロビから奥地へ入り、国連WFPの支援現場を視察した。現地では電気や水道といった基礎が十分でない中で暮らす人々の厳しい生活

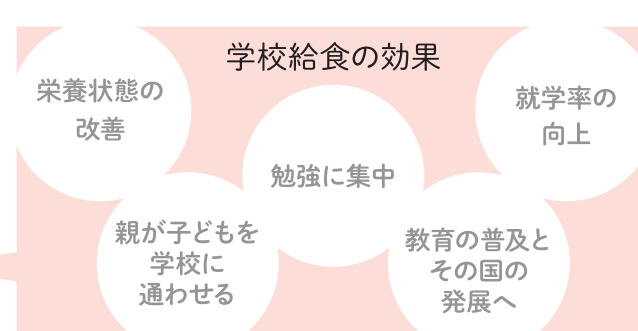
田中茂治 伊藤忠商事元常務取締役

環境を目の当たりにした。ある日、簡素な住居の二つを訪れた際、その二つの灯り下で、読む一人の少年に出会った。丹羽氏が将来の夢を語る、少年は「医

ていいます。また、投資と人道支援と開発を一体的に進める視点が不可欠であり、WFPは日本の民間企業の技術や知見を取り入れた協力事業も複数の国で実施しています。国連WFP協会の認定NPO法人化20周年は民間寄付のさらなる発展を促す重要な節目です。飢餓ゼロの実現に向け、日本の皆さまとの連携を一層強化してまいります。

間分野における意識改革や世論喚起が相乗的に作用している点が大い。こうした官民一体の取り組みにより、飢餓問題の解決に向けた支援体制は、厚強化され、日本の国際貢献における存在感向上にも寄与している。

レッドカップキャンペーンは15周年を迎えます ～すべての子どもたちに栄養と希望を～



消費者とともに、サステナビリティ・SDGs推進に取り組みませんか？ 現在68企業が参加中！（2026年6月時点）							
食品・加工食品	アサヒ飲料(株)	(株)紀文食品	スラマツ・エヌ・パニラ(株)	(株)バイオバンク	食品・生鮮食品	外食・体験	日用品雑貨
	(株)あじかん	キャンベルジャパン(株)	築野食品工業(株)	ハウス食品グループ本社(株)			
(株)アルファ食品(株)	共立食品(株)	キュービー(株)	(株)ソルハホールディングス	ブリハム(株)	(株)タナカバナナ	(株)サガミホールディングス	(株)サンピア
	(株)一栄食品	(株)湖池屋	日清スシコ(株)	ぼんち(株)			
(株)上野忠	(株)MDホールディングス	(株)山陽ハイクリナー	日清食品(株)	三菱食品(株)	中央フードサービス(株)	TOHOシネマズ(株)	(株)ニコン
	(株)大森屋	敷島製パン(株)	日清食品冷凍(株)	三本珈琲(株)			
(株)おやつカンパニー	カンロ(株)	清水食品(株)	日清ヨーク(株)	明星食品(株)	中谷商事(株)	長野グランドシネマズ	メディアスホールディングス(株)
		昭和産業(株)	(株)ニッポン	日本生活協同組合連合会			
		(株)真誠	日本生活協同組合連合会	(株)農心ジャパン			

詳細はこちら▶



問合先

認定NPO法人 国連WFP協会 企業・団体連携チーム

kigyo@jawfp.org TEL.045-221-2515